



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月30日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 (TEL) 03 (3231) 6811  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	43,524	7.4	3,986	26.2	4,098	23.7	2,378	25.6
25年3月期第3四半期	40,527	7.7	3,159	△19.1	3,312	△18.4	1,892	△23.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	84 03	—
25年3月期第3四半期	66 87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	90,659	77,942	86.0
25年3月期	91,350	76,700	84.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 77,942百万円 25年3月期 76,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
26年3月期	—	20 00	—		
26年3月期(予想)				20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	6.1	3,100	10.9	3,300	11.8	1,900	2.7	67 14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2014年3月期第3四半期決算 参考資料」に記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	28,800,000株	25年3月期	28,800,000株
26年3月期3Q	499,438株	25年3月期	499,074株
26年3月期3Q	28,300,816株	25年3月期3Q	28,301,172株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績 .....	2
(2) 財政状態 .....	2
(3) 研究開発活動 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
【第3四半期累計期間】 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

	平成25年3月期 第3四半期累計期間	平成26年3月期 第3四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	40,527	43,524	2,997	7.4%
営業利益(百万円)	3,159	3,986	826	26.2%
経常利益(百万円)	3,312	4,098	786	23.7%
四半期純利益(百万円)	1,892	2,378	485	25.6%

売上高は43,524百万円と前年同期に比べ2,997百万円(7.4%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は10,612百万円と前年同期に比べ1,308百万円(14.1%)増加したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は9,940百万円と前年同期に比べ1,096百万円(12.4%)増加しました。また、平成25年5月に販売を開始しました「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」については696百万円となりました。

費用面におきましては、売上原価は売上高が増加したことに加え、販売品目の構成が変化したことにより19,457百万円と前年同期に比べ1,886百万円(10.7%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が減少したものの、販売促進費等が増加したことにより20,080百万円と前年同期に比べ284百万円(1.4%)増加しました。

以上の結果、営業利益は3,986百万円と前年同期に比べ826百万円(26.2%)増加し、経常利益は4,098百万円と前年同期に比べ786百万円(23.7%)増加しました。四半期純利益につきましては2,378百万円と前年同期に比べ485百万円(25.6%)増加しました。

## (2) 財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産は、90,659百万円と前事業年度末に比べ691百万円(0.8%)減少しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が9,638百万円、受取手形及び売掛金が3,143百万円増加しましたが、有価証券が9,790百万円、現金及び預金が3,814百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、12,717百万円と前事業年度末に比べ1,932百万円(13.2%)減少しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が2,837百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、77,942百万円と前事業年度末に比べ1,241百万円(1.6%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,245百万円増加したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は5,184百万円であります。

なお、平成25年12月24日、ALK-Abello A/S (デンマーク) から導入した、ダニを抗原とするアレルギー疾患を対象とした減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「T0-204」(注射剤)およびアレルギー検査薬「T0-205」について、日本国内における製造販売承認申請を行っております。

また、本年1月17日、スギ花粉症を対象とした減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「シダトレンスギ花粉舌下液」について、「スギ花粉症(減感作療法)」の効能・効果で、日本国内において製造販売承認を取得しました。

さらに、同日、日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)との共同開発品である高リン血症治療剤「リオナ錠」について、「慢性腎臓病患者における高リン血症の改善」の効能・効果で、JTが日本国内において製造販売承認を取得しました。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成25年10月31日「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,903	2,088
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	6,324	15,963
受取手形及び売掛金	20,248	23,391
有価証券	29,197	19,407
商品及び製品	4,970	4,351
仕掛品	477	460
原材料及び貯蔵品	2,082	2,658
その他	2,288	2,204
流動資産合計	71,492	70,525
固定資産		
有形固定資産	5,652	5,891
無形固定資産	639	591
投資その他の資産	13,566	13,651
固定資産合計	19,857	20,134
資産合計	91,350	90,659
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,674	5,430
未払法人税等	713	1,305
賞与引当金	1,210	655
役員賞与引当金	55	46
返品調整引当金	0	0
その他	6,315	4,415
流動負債合計	13,969	11,853
固定負債		
退職給付引当金	134	174
その他	546	689
固定負債合計	680	863
負債合計	14,650	12,717
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	65,594	66,840
自己株式	△858	△859
株主資本合計	76,341	77,586
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	358	355
評価・換算差額等合計	358	355
純資産合計	76,700	77,942
負債純資産合計	91,350	90,659

(2) 四半期損益計算書  
【第3四半期累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	40,527	43,524
売上原価	17,571	19,457
売上総利益	22,955	24,066
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,777	2,998
給料及び手当	4,501	4,714
賞与引当金繰入額	486	548
研究開発費	5,838	5,184
その他	6,191	6,633
販売費及び一般管理費合計	19,795	20,080
営業利益	3,159	3,986
営業外収益		
受取利息	84	68
受取配当金	63	31
その他	26	31
営業外収益合計	174	131
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	16	17
その他	4	1
営業外費用合計	21	18
経常利益	3,312	4,098
特別損失		
固定資産除却損	21	3
ゴルフ会員権評価損	6	—
特別損失合計	27	3
税引前四半期純利益	3,285	4,095
法人税等	1,392	1,717
四半期純利益	1,892	2,378

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。